

令和6年度

福生市立福生第三中学校 道徳授業地区公開講座

テーマ 「 生徒が自分の考えを深める道徳 」

資料内容

- ① 1 学年道徳授業指導案及び資料
- ② 2 学年道徳授業指導案及び資料
- ③ 3 学年道徳授業指導案及び資料

- 1 日時 令和5年9月14日(土) 9:40~10:30 (各教室)
- 2 教材名 1年 『「どうせ無理」という言葉に負けない』(A 真理の探究・創造)
2年 『ゴール』(B 友情・信頼)
3年 『好きな仕事か安定かなやんでいる』(C 勤労)
- 3 授業者 1年 1組 堀和宏 2組 岩尾京子 3組 安田裕昭
2年 1組 小林真央 2組 湯淺愛 3組 山内正治
3年 1組 久保田翔子 2組 河野伸二郎

本日はお越しいただきありがとうございます。時間割と校舎案内図は以下の通りで

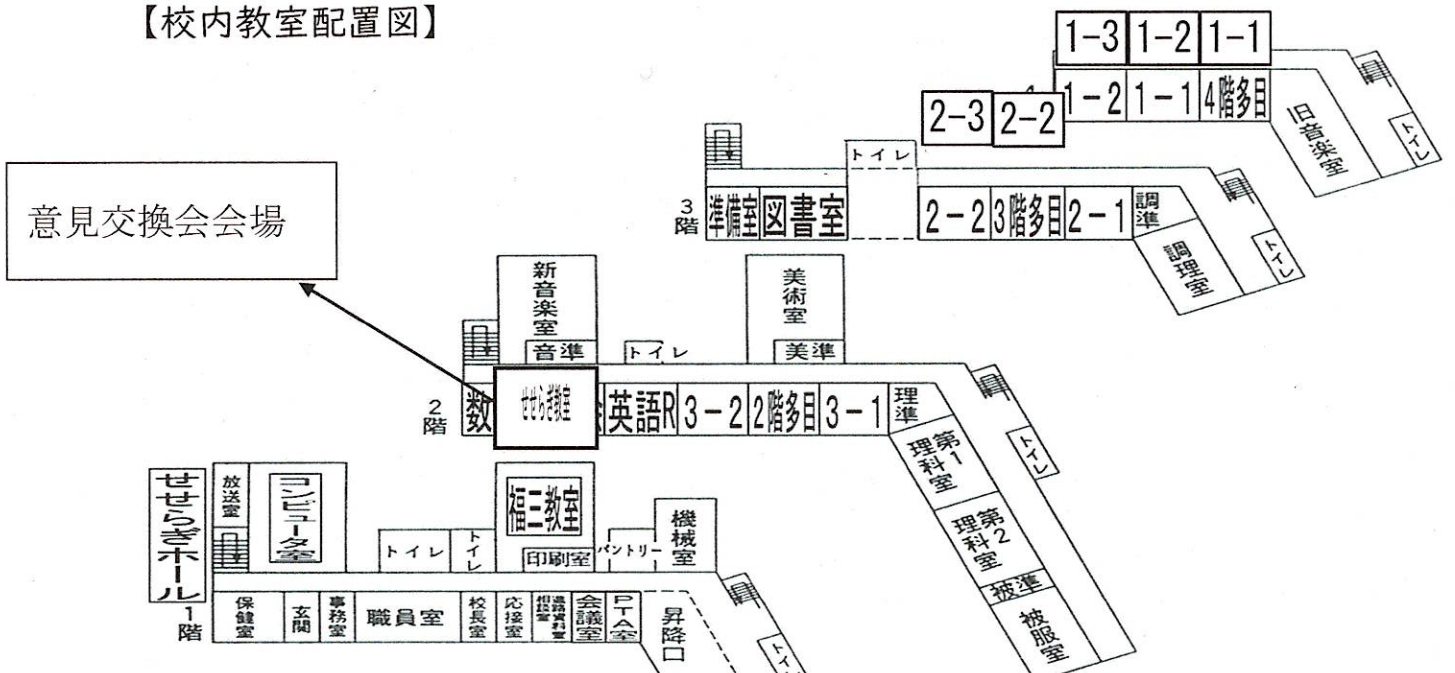
す。

【9/14(土) 道徳授業地区公開講座 時間割】

	①	②	③
1-1	美術(美術室)	道徳	保体(校庭)
1-2	社会	道徳	数学
1-3	保体(校庭)	道徳	理科
2-1	技術(金工室)	道徳	国語
2-2	理科A	道徳	音楽(旧音楽室)
2-3	音楽(旧音楽室)	道徳	理科A
3-1	数学	道徳	美術(美術室)
3-2	国語	道徳	社会

※3時間目に道徳授業公開講座の意見交換会を行います。場所は1階せせらぎ教室になります。

【校内教室配置図】



令和6年度

道徳教育の全体計画

日本国憲法
教育基本法
学校教育法・諸法規
東京都教育委員会目標
福生市教育委員会目標
学習指導要領

時代や社会の要請
・国際化・高齢化など、社会変化への対応
・生きる力の育成
・基礎基本の充実と個性を生かす教育推進

各教科

国語
言語活動を通して、他人の心を理解し自己表現力を養う。

社会
人権尊重教育を中心に自ら考え行動する態度を養う。

数学
自分の考えを整理し、論理的に考える能力を養う。

理科
自然に対する畏敬の念や生命を尊重しようとする態度及び科学的思考力を養う。

音楽
合唱や合奏を通して、音楽を愛好する心情や感性を育み豊かな情操を培う。

美術
表現活動を通して、美術を愛好する心情や感性を育み豊かな情操を培う。

保健体育
心身の健康の保持増進や豊かなスポーツライフを実現しようとする態度を養う。

技術・家庭
製作を通して、勤労の尊さを感じ、社会へ奉仕しようとする態度を養う。

外国語
異文化の理解を深め、外国語を通して主体的にコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

学校の教育目標

- 1 よく聞き、よく見、自分の考えをもつ生徒を育成する。：学ぶ「課題解決力」
- 2 ものごとをやり抜く強い意志をもつ生徒を育成する。：鍛える「実践力」
- 3 責任を果たし、みんなのために働く生徒を育成する。：行動する「共生力」
- 4 美しいものをもとめ、豊かな心をもつ生徒を育成する。：思いやる「人間関係形成力」

道徳教育の重点目標

- ・人の気持ちを理解しようとする心や謙虚に他に学ぶ姿勢を持つ態度を養う。(課題解決力)
- ・向上心を持ち、何事にもねばり強く着実にやり抜く意欲と態度を養う。(実践力)
- ・集団や社会の一員として、自己の役割と責任を自覚して自主的に行動しようとする態度を養う。(共生力)
- ・感謝と思いやりの心、豊かな情操や感性を育む。(人間関係形成力)

各学年の指導の重点

第1学年	<ul style="list-style-type: none"> ・何事にも粘り強く、責任をもって取り組むようにすること。 ・他者を思いやり、協力し合って集団生活の向上に努めること。 ・他者を尊重しながら感謝の心をもち、親切にし、いたわり、励ます生き方をしようとする。
第2学年	<ul style="list-style-type: none"> ・授業を大切に、意欲的に学習への取り組みを継続して学力を身に付けること。 ・勤労の尊さを重んじ、奉仕の精神を進んで実践しようとする。 ・他者を思いやり、支え合い高め合える人間関係を築いていくこと。
第3学年	<ul style="list-style-type: none"> ・授業を大切に、意欲的に学習へ取り組み、学力を伸ばしていくこと。 ・地域から国際社会にまで目を向け、積極的に他に貢献しようとする。 ・他人を思いやり、支え合い、集団の一人としての自覚をもち行動すること。

- ・生徒一人一人が自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考え、人間としての生き方についての自覚を深めようとする授業を目指す。
- ・具体的な道徳的行為を実践する体験的な学習を取り入れることによって、道徳的価値の意義について理解を深めさせようとする授業を目指す。
- ・多様な道徳的価値に向き合うことを通して、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てる授業を目指す。

生徒の実態

- ・明るく素直である。
- ・自主性がやや弱く指示を待つ傾向がある。
- ・主体的に学べる生徒とそうでない生徒の二極化がある。

保護者等関係者の願い

- ・思いやりのある子
- ・社会のルールを守る子・諸事に前向きに努力する子

特別活動

学級活動

- ・一人一人が自己の役割を認識し、協力し合う態度を養う。

生徒会活動

- ・活動の企画・実施を行う中で、自主・自立の精神を養う。

学校行事

- ・集団での体験の中で協調性を養うとともに、感動を体験することによって豊かな心情を養う。

総合的な学習の時間

- ・横断的・総合的な学習を探究的な見方・考え方を働かせ行うことを通して、自己の生き方を考えようとする態度を養う。
- ・探究的な学習に主体的・協働的に取り組み、積極的に社会参画しようとする態度を養う。

生徒指導

- ・集団の一員としての自覚と、目標を持って自己実現に努める態度の育成を援助する。

学級経営・教育環境の整備

- ・学校、地域の歴史に関するものや、体験活動の発表・報告など、道徳教育に役立つ展示物を掲示する。

体験活動等

- ・清掃活動、挨拶運動等を通じ、関わる心情と行動力を育む。

家庭・地域等との連携

家庭

- ・行事、奉仕活動、道徳授業への保護者の参加などの交流によって、家庭と学校双方での道徳教育への意識を喚起する。

地域社会

- ・体験活動や行事への地域の方々の参加、地域の人材を講師として招くなど交流を深め、協働体制の確立を図る。